

池尻 関係部署も手を尽くした感はあるが、現在の教員不足は更なる成り手不足、労務負担、子ども達への様々な影響等があるのか。

教員労務対策

Q

インターンシップ活用を

A

現場、外部と連携し、増やしていきたい



池尻 浩一 議員

り、まだしばらくはこの状況が続くと思われる。

インターンシップ制度を活用して、人材育成や現場職員の負担減につなげられないか。

教育長 久留米工業大学と連携協定を結んで、教育創造工学科の学生をインターンシップで受け入れており、現場の評価も良好である。

今後も近隣大学との連携協力で若者の教職への意識向上、教職員の負担軽減につなげたい。

池尻 現場の要望も多い。要望数とマッチしているか。増やす予定はあるのか。

教育長 中広小12名の希望に学生3名、上広小3名に1名、下広小4名に3名、中学校5名に1名と、現場の希望人数確保に至っていない。

池尻 工業大学においては小学校課程の教員資格は取れない。他の大学への連携協力の動きはあるのか。

教育長 現在、計画はないが、久留米大学や大谷短大等とも連携した取組をやしていきたい。

役場職員育成

Q

職務意識と育成状況は

A

コンプライアンスを遵守しながら指導していく

池尻 住民対応に対し、職務意識や資質向上は必須課題。どのように取り組んでいるか。

町長 新規採用の正規職員には服務の宣誓文を自ら読み上げる事で自覚を促す取組を始めている。

池尻 電話対応、窓口対応においての住民の方からの苦情が続いている以前も質問したが、どのように指導、研修を行ったのか。

町長 住民の方に不快な思いをさせてしまったことは本当に申し訳ない。前回から研修は行っていないが、きちんと指導し、体制づくりをやしていきたい。

池尻 技術職等の適正数確保は出来ているか。

町長 土木の技術職は不足している。育成や指導に対し人間関



住民サービス向上に向けて

係を深く築いていく事から取り組んでいく。